

CRF450Lは、モトクロスレースシーンで活躍しているCRF450Rのもつ本物のオフロード性能を世界中のより多くのお客様に、より幅広いシーンで楽しんでいただくことを目指しました。

開発コンセプトは

「Attack Next Trail」

トレイルを分断する公道で立ち止まることなく次のトレイルに移動できることで、ライダーの冒険の幅を大きく拡げました。その実現のため、以下の内容で開発しました。

エンジンは、低回転域からの粘り強いドライブビリティと、中～高回転域にかけた扱いやすい出力特性を実現させつつ、公道モデルとしての環境性能を高次元で両立。

また、公道走行時の快適性を確保するため、トランスミッションに新設計の6速ミッションを採用。

車体は、トレイル走行に適した剛性バランスとなるよう各部を最適化。

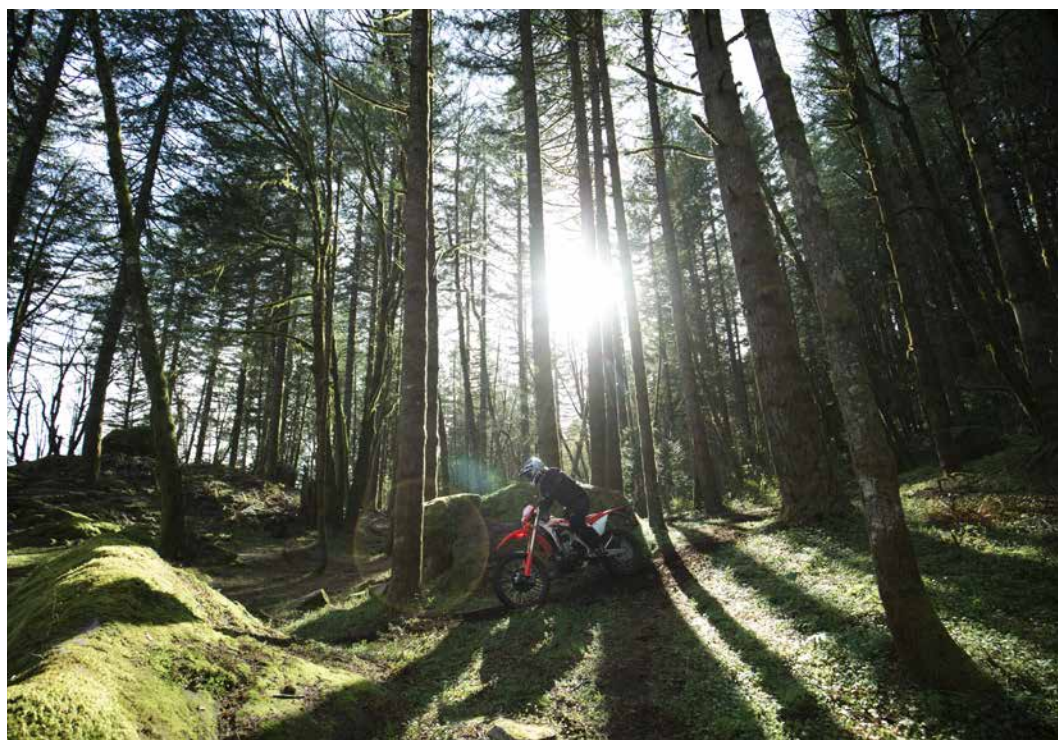
シャシー領域はCRF450Rの基本コンポーネントをそのままに、舗装路から未舗装路まで幅広い路面状況に対応できるよう、前後サスペンションに専用のセッティングを実施することで、優れたハンドリングを実現。

車体の軽量・コンパクト化を図るため、CRF450Rと同様、チタン製燃料タンク、リチウムイオンバッテリーの採用や、オフロード量産モデルとして世界初*となる、全灯火器のLED化を行いました。

パフォーマンス維持と実用の耐久性を兼ね備えた、メンテナンススケジュールを新規に設定。

そして、公道走行に必要な保安部品を装備しました。

* Honda調べ。2018年9月現在。



■走りイメージ(写真は海外仕様車)